

- 1 審議会名 武石地域協議会
- 2 日 時 平成21年6月23日 午後7時00分から午後9時00分まで
- 3 会 場 武石地域自治センター 2階会議室
- 4 出席者 新井繁雄委員、上野正司委員、柿島祐子委員、木下文雄委員、木下幸光委員、清住章雄委員、小山洋江委員、桜井敏昭委員、佐藤栄作委員、城下ゆかり委員、高田忍委員、滝沢由美子委員、中嶋和夫委員、橋詰真由美委員、松井幸夫委員、松代典之委員、依田せつ子委員(欠席 3名)
- 5 市側出席者 宮下センター長、広川地域振興課長、山口市民生活課長、犂山産業観光課長、桜井建設課長、近藤健康福祉課長、伊藤教育事務所長、児玉地域政策係長、掛川主任
- 6 公開・非公開等の別 公開
- 7 傍聴者 2人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 21年7月8日 作成部局課名 武石地域自治センター 地域振興課

協 議 事 項 等

- 1 開会(広川課長)
- 2 会長あいさつ(桜井会長)
- 3 センター長あいさつ(宮下センター長)
- 4 報告事項
- ・武石小学校体育館建設の概要について(武石地域教育事務所)
- 【説明要旨】 ~資料に基づき、教育事務所長説明~
- 体育スペース 40.5m×26.0m、バレーボール2面、ミニバスケットボール1面
- 武石小学校の要望により、できるだけコンパクトに、ステージはせり上がり
- 防災備蓄庫・・・災害時用の用具の保管(地域振興課関係)
- 器具庫・・・小学校、社会体育を含めた器具庫
- 更衣室・・・プール用の更衣室も兼ねる
- その他・・・社会体育用の入口を別に設置予定、車いす用スロープを設置していきたい。
- 7月中に検討、8月中に基本設計終了し、今年度中に実施設計をまとめていく予定。
- 平面図は、面積と作る部屋を参考にさせていただきたい。部屋の配置は未定。
- 【質疑・意見】
- (委員)社会体育も兼ねるとのことだが、観覧席は図面のどこになるのか。
- (教育事務所長)2階のギャラリー部分が観客席になるが、学校の行事は、音楽会など主にステージを使ったものである。参加する人も観賞する人も床面で観賞することを前提にしている。室内の温度のことを考えるとできるだけコンパクトにしてほしいと小学校から要望をいただいている。現在の社会体育館のような観覧席のようなものは想定していない。
- (委員)行事のときにはイスが必要になると思うが、器具庫には、子どもたちが使うイスなども収納できるのか。ステージ下の空スペースも有効に使ってもらいたい。
- (教育事務所長)器具庫の収納物品について、小学校に一任しているが、収納スペースをこれ以上極端に増やすことはないと考えている。ステージ下のスペースも有効に使うよう、検討している。
- (委員)児童館裏は駐車できなかったと思うが、体育館裏には駐車できるのか。
- (教育事務所長)体育館の駐車場は、現在の交通公園を想定している。
- (会長)協議会終了後にもし何か意見があれば、教育事務所へお願いしたい。

5 協議事項

・武石地域の課題について

(会長) 本日も前回に引き続き、4月の協議会でお出しいただいた意見等について、担当課長からご説明いただく。健康福祉課長がこのあと所用があるそうなので、初めに健康福祉課関係からお願いしたい。

(健康福祉課長) 「長和町の高校3年生まで医療費の無料化を上田市でもできないか」とのことだが、市の福祉医療費給付額は、年間約6億5000万円かかっている。これを長和町同様に高校生まで引き上げるとなる莫大な予算が必要となり、財政的に非常に難しい。

「子育てに関するアンケートを実施したらどうか。子どもが増えるような対策を考えてもらいたい」とのことだが、市では、今年2月に上田市次世代育成支援に関するニーズ調査が終わり、現在結果を集計中。その結果を踏まえ、次世代育成計画を策定し、素案ができたところで地域協議会へも説明する予定である。子どもの医療費の問題については、その際に意見として出してもらえればと思う。

「武石診療所は今後も存続してもらいたい」とのことだが、当然今後も存続していかなければいけないと考えている。寺島医師の定年退職(平成24年度)までに新医師を確保できるよう、さまざまな方面に働きかけ募集していきたい。

(委員) 医療費の無料化は、今は無理だとしても地域協議会からの意見として上げ続けていくことが大切ではないかと思う。ぜひ訴え続けてほしい。

(健康福祉課長) 次世代育成計画の中にそういった問題が盛り込まれていると思う。武石から委員さんが出ているので、その方にもこういった意見を出していただければいいと思う。

(委員) 実施したアンケートは、どんな人を対象に、どんな内容のアンケートを実施し、どのような結果が出ているのか教えてほしい。

(健康福祉課長) 就学前・就学児童のいる世帯から数千世帯を無作為に抽出し、アンケートを行っている。内容は、委員さんが言われていたような「子どもは何人いるか」「何人ほしいか」「希望と現実が異なる場合、その理由は何か」などである。結果は現在集計中であるので、集計後にお示ししたい。

(会長) 他に意見がないようなので、次に から地域振興課関係についてお願いしたい。

(地域振興課長) 「地域予算を有効に使うため、アンケートを実施したり、各団体の声を聞いたらどうか」とのことだが、基金の使い道については、多数の方の意見を聞くことも重要であるが、地域協議会の委員の皆さんが、地域の代表として地域の住民の意見を十分に把握し、行政と協議していくことが望ましいと考えている。

「市長に、2ヵ月に一度ほどは地域へ出向いて意見を聞いてほしい」とのことだが、市長は毎日分単位に激務をこなしており、定期的に武石に来てもらうことは現実的に難しい。しかし、武石地域でも市長と話したいということがあれば、こちらへ来てもらうことも可能だと思う。ご意見は、秘書課を通じて市長に伝えていきたい。

(委員) 地域予算については、アンケートに限らず、広く意見を聞くことが大切だと思う。地域協議会だけでは、なかなか具体的なよい意見が出てこない。いろいろな枠組みがあるので、各団体などから意見を出していただき、よいものを吸い上げていった方がいいと思う。

それから、市長には地域に出向いてもらうことに意味がある。市長に武石地域に来ていただき、ひとつでもふたつでも地域の意見を聞いてほしいと思う。

(会長) 次回から部会を設けて、地域振興基金の使い道について協議していきたいと考えている。部会については、前回同様、地域振興部会(地域振興課、産業観光課、建設課関係) 市民生活部会(市民生活課、健康福祉課、教育事務所関係)の2つを設けたいと考えている。前回の部会は具体的な意見にまとまらなかったが、部会には行政の皆さんも参加していただき、協議しながら進めていただきたい。

(センター長) 市長は、市民との懇談会について工夫しながら実施してきている。合併してからお気軽ミーティングやふれあい談話室など、地域に出向き懇談の場を設けてきた。今年度は地域での懇談会の開催はないが、テーマに沿った懇談会を年7回予定しており、すでに3回実施している。意見がある方は、そういう場を利用していただきたい。

(委員) 市長との懇談会については、どんな方でも広く参加できるような形をぜひとっていただきたい。

(地域振興課長) 「生活改善グループの塩蔵庫部分の借用」については、前回の協議会でお話したとおりである。

「商工会の土地の賃借料」については、平成 29年度までは無償契約をしているので、商工会合併後も契約内容は変わらない。29年度以降についてはこれから協議をしていきたい。

「合併特例債を使った駅前開発」について、市の重要案件は、必ず市民公聴会やパブリックコメントを行い、発言の機会を設けているので、それらを活用し、意見を述べていただきたい。

(委員) 農産加工所の塩蔵庫は、3年後に解体が決まっている。解体された場合、生活改善グループが土地を借りて簡易建物を建てることは可能か。

(地域振興課長) 可能である。

(地域振興課長) 「駐車場対策」については、19年 3月議会の一般質問でも出ており、その際の市の答弁であるが、「市役所周辺には取得可能な用地がないのが現状である。駐車場立体化も検討したが、工期が6ヶ月以上かかることもあり、検討の段階でとどまっている。現状施設の中で誘導員を配置して対処していきたい」となっている。

「夏祭り、御柱祭の寄付集めへの懸念」について、特に夏祭りの花火大会については、商工会の皆さん中心にご苦勞をいただいているが、今年は不況に伴い中止になった。御柱祭については、今回実行委員会を立ち上げる。今までは、商工会を中心に寄付金の募集を行ってきたが、今回は実行委員会の中で考えていく予定である。

(委員) 市民会館のJT跡地への移転については、駐車場問題からもなるべく早く進めていただきたいと思っている。

(市民生活課長) 市民生活課関係で、「安協武石支部の役員の人選」について、事務局は今まで交通安全担当が行ってきたが、今年1年をかけて支部へ移行していく。役員(正副支部長、正副女性部長)の選出については、武石地区自治会連合会に協力していただき、確かな人選をしていただくようお願いしていきたいと考えている。

「コミュニケーション 21」の関係だが、武石地域の男女共同参画についてはすべてコミュニケーション 21をお願いしているところである。団体が少なく、若い人の加入も少ないが、興味のある事業を計画してもらい、頑張ってもらいたい。男女共同参画計画の中に「各種審議会等への女性登用の促進(登用率35%以上)」があるが、人口4000人の武石地域からいくつもの審議会へ女性を選出していくのは難しいため、本庁へお願いしていきたいと思っている。

(会長) 事務局を移行するということが、実際に誰がやることになるのか。一般の人が通知や資料を作ったり、会計処理をしたりするのは大変だと思うが。

(市民生活課長) 事務局は、副支部長をお願いしたいと考えている。通知等もお願いすることになるが、様式は全て以前のものがある。また、通信料削減のため、通知ではなく、電話による連絡網についても検討をしている。

(委員) 現在も武石支部だけがそういった形でやっていないということなので、そうせざるを得ないだろう。その場合、書類の管理なども個人が管理していくのか。

(市民生活課長) 書類の管理も含めてお願いしたいと思っている。

(委員) コミュニケーション 21 が男女共同参画の代表団体になっていることに問題があり、「男・女」が参画できる団体をつくってほしいという提案を、前回したはずだが。

(市民生活課長) 一昨年、自治会長も含めて団体の立ち上げを検討したが、中断してしまった。なるべくそういう方法に持っていきたいと思っている。

(会長) これについては課題として考えていってもらいたい。

(産業観光課長) 産業観光課関係で、21「雲溪荘の食事改善」について、調理関係者の研修を深め、食材について工夫しながら季節に応じた料理を提供し、要望に応えられるよう努めたいとのこと。先日、雲溪荘職員全員で東御市にある「大田区休暇村とうぶ」に視察研修に行き、今後は鹿教湯温泉にある「鹿月荘」への研修を予定しており、職員の意識の改善に努めながら、味の改善につなげたいとしている。

22「練馬区と連携した事業の検討」について、現在、西武地区の市有地を利用し、地域の方々の協力を

得て、練馬区民を対象にした市民農園事業を検討している。また、ベルデ武石や雲溪荘利用者に武石産の野菜を提供できるような仕組みづくりを考え、将来的に、練馬区へ武石のアンテナショップ設置についても検討していきたいと考えている。

(委員)練馬の関係については、いろいろ検討していただきうれしく思う。姉妹提携をしている中で、幅広い分野でよりよい関係を築いていけたらよいと思う。

(委員)雲溪荘の食事の改善した点を知りたい。新メニューができれば試食会なども実施してもらいたい。

(委員)今年3~5月に生産者団体の総会で雲溪荘を数回利用したが、いつ行っても料理が同じである。利用する者が同じだとわかっていても料理が変わらない。

(会長)新メニューができれば、地域協議会で試食会を行えばよい。

(委員)食事の改善についても重要だが、前回委員さんが問題提起した雲溪荘、番所ヶ原スキー場の将来についてなど、もっと根本的なことを真剣に考えていく必要があるのではないか。

(会長)武石開発公社の検討については、別組織で検討していくとのことである。施設自体は市の施設なので、我々も考えていかなければいけない。

(センター長)武石開発公社については、公益法人制度改革や指定管理者の問題、市内4公社の統合など問題が非常に複雑である。そのため、武石開発公社の今後のあり方についての検討委員会を立ち上げた。ベルデ武石以外はすべて市の施設なので、地域協議会の皆さんからもご意見をいただければありがたい。

(産業観光課長)²³「地域予算で獣害対策を考えてもらいたい」とのことだが、獣害防護柵はこれまで上武石、下本入、権現、大布施巣栗で設置し、今年は上小寺尾を予定している。材料を市で提供し、受益者の労力奉仕で進めているが、地域によっては地理的条件や受益者の多少などにより設置が難しい地域もある。そうした労力の足りない部分に地域予算を充てることは、武石地域全体のバランスや公平性という面もあり、今後の検討課題である。

²⁴²⁵「余里の花桃のように、武石地域も観光地・観光資源づくりに力を入れていただきたい」とのことだが、余里地域は地元の幅広い年齢層の方々の熱意とまとめ、自然や地理など多くの条件が整い、花桃の里として継続発展してきている。こうした取り組みや成果は武石全体の観光を考える上でも大変参考になる。以前にハナミズキを広めようと試みたが、進まなかった経緯もある。何を広めることがよいのか広く意見を聞き、武石全体に適した花木についても研究を進めたいと考えている。また、武石地域は東西に長く標高差があるため、花木を1種類にするのか、地域に適したものするのかや、市民協働により武石全体を公園のようにするのかなど、検討していきたいと考えている。

(委員)獣害対策については、荒廃地対策として意見を出したので、荒廃地対策と含めて検討していただきたい。防護柵を設置した4地区については、被害が減り、荒廃地もなくなってきた。地域のバランスの問題だけでなく、各地域の現状を把握し、その自治会に合った対策をとっていかなければいけないと思う。

(委員)以前に自治会宛に行った獣害防護柵設置に関するアンケートの結果はどうなっているのか。

また、武石地域全体を公園化し、観光地とするのはよい案だと思う。

(産業観光課長)アンケート結果は後でお示ししたい。

(建設課長)建設課関係で、²⁶「上田市街地へのアクセス道路の整備」については、小屋坂トンネルを経て辰ノ口バイパス接続ルートや平井寺トンネルの早期無料化、石井・大屋付近の渋滞解消等について、道路期成同盟会を通じ、県へ要望を行っており、今後も強く要望していきたい。

²⁷「道路状態の悪いところを改善してほしい」とのことだが、これは話を聞くと市道ではなく県道のことのようだが、県道の改修について県へ要望を行っているが、なかなか実施してもらえないのが現状である。他地域の話であるが、地元住民の方が中心となり道路要望を行っているところがある。その自治会では道路の美化活動を行っており、道路に対する地元の熱意がある地域には、県も予算付けをしているようである。要望するだけでなく、道路美化活動にもぜひご協力いただけるよう、自治会長会等でもお願いしていきたいと考えている。

(委員)道路の美化活動に対し、補助金等が出るのか。

(建設課長)美化活動はあくまでボランティアである。

²⁸「カーブミラーの設置」については、地元自治会の要望をしっかりと確認し、設置していきたい。

²⁹「都市計画」については複数のご意見をいただいております。本庁都市計画課の考え方も含めお話するので、ご理解をお願いしたい。都市計画区域の見直しについては、昨年4～9月にかけて地域協議会や市民の皆さんに説明してきた。市では、市民に理解を得られるよう都市計画区域、都市計画税のあり方についてさらに検討している。市全体の観点のほか、地域の土地利用や無秩序な開発抑制など、都市計画を生かしたまちづくりの必要性、地域に必要な施設整備の検討などをふまえ、都市計画区域、都市計画税のあり方について慎重に検討している。年内に方針を決め、各地域へ説明をする予定である。勉強会を兼ねた市と地域協議会との懇談会の開催など、お互いに理解を深める機会をいただければありがたいと考えている。

(委員)都市計画については勉強会を行い、武石地域としての意見をまとめたほうがよい。佐久市で行っている特定用途制限地域を上田市にもあてはめたらどうかと思う。

(会長)この問題について、今の段階で武石地域協議会では賛成という意見は出ていない。それを踏まえたうえで協議を進めたいと思っている。

続いて、教育事務所関係についてお願いしたい。

(教育事務所長)³⁰「温泉プール」については、教育関係の立場として建設は無理があるかと思う。

³¹「武石体育館の耐震診断」については、武石地域として要望しているが、学校施設が優先となるため、実施順位は遅くなる。体育館への会議室の設置は、耐震診断の検討、また小学校体育館の建設後でないと難しい。床ワックスについては、工期が1ヵ月程度かかり、現在の体育館の使用状況から考えると、小学校体育館建設後に実施したほうがよいのではないかと思う。これについてはご意見ををお願いしたい。

^{32・33}「児童館」の関係については、建設は決まったが運営についてはまだ問題があるということだと思ふ。現在関係者による皆さんで話し合いを進めている。またソーラーシステムについては、設計が終わっている現時点では設置できない。強い要望があれば、後で増設することは可能である。

(委員)体育館のワックスについては、小学校体育館建設後でよいと思う。

(教育事務所長)³⁴「中学校のクラスを増やせないか」とのことだが、依田窪南部中学校の校長先生から回答をもらっているので、ご説明したい。「現在、1年生は78名で2クラスしかなく、1クラス39名であるが、40人学級が標準のため、法律上は問題がない。当初、クラスを3クラスにし、単独予算で教員を採用することも考えたが、現在は指導力に優れた県職以外の教員を見つけることが困難な状況である。また、1クラス増えることにより、数学などの選科の教員の負担が週に8時間も増えてしまい、3人の教員では対応が困難になること。このようなことから指導力があり教職経験豊かな教員が学級担任となり、きめ細かな指導ができ効果を上げられると考え、2学級編成とした。ただし、数学等は少人数学習を行っている。」とのことである。

³⁵「高校等通学費補助制度」については、昨年地域協議会で説明したが、新制度は通学距離による補助制度に変更し、全市に拡大したものである。ただし、武石地域は平成23年度まで暫定措置があるため、新制度の内容にご理解をいただきたい。

³⁶「御柱祭の各家庭の負担への配慮」については、これからおねり行事实行委員会を立ち上げるので、そこで提案し、検討をしていきたい。

^{37・38}「宗教行事でも文化や伝統については補助してほしい」とのことだが、以前から伝統芸能であるおねり行事に対しては、行政から補助をしており、そういった意味で今後も努力を続けていきたい。宗教行事に対しては法律上、行政から補助はできない。

(地域振興課長)³⁹「地域ふれあい事業」については、社会福祉協議会から回答をもらっているのご説明したい。「地域ふれあい事業は、自治会で創意工夫し企画した事業をとおして、地域に暮らす住民のネットワークづくりを目的に推進している事業である。会議では、できるだけ新しい事業の実施をお願いしており、従来からのものも変化や趣向を取り入れて実施するよう、積極的にお願いしている。」とのことである。

6 その他

(会長)次回から部会(地域振興部会、市民生活部会)を設けていきたい。委員構成については、どちら

がよいという希望があればお聞きするが、特になければ会長に一任願いたい。

(委員) 会議は毎回夜に開いているが、昼間やってもよいのではないか。

(会長) 第 1 期のときは昼と夜で交互に会議を開いていたが、第 2 期の皆さんは大半の方が夜の開催を希望したため、夜に開いている。

(会長) 来月の協議会の日程を決めていただきたいと思うが、29、30日あたりでどうか。

異議なし

(会長) それでは、今回は 29日か 30日のどちらかに開催する。

7 閉会 (小山副会長)